

K S K Q どかどかつうしん No. 232

とくてい ひ え い り かつどう ほうじん

じりつ し え ん

特定非営利活動法人いばらき自立支援センター



ぽぽんがぽんNews

2 0 0 8 年 6 月 号



大阪府庁前アピール行動の報告

最近コースで取り上げられてご存じの方も多いとは思いますが（先日「どかどか」と「グル・ポ・ホームくら」も関西テレビの取材を受けました）、大阪府がPT案というものを提案しています。簡単に言うと、『大阪府はお金がないので何も考えずに予算を減らします、府民の皆さんは平等に我慢してください』というものです。



予算削減は必要なことだと思いますが、全ての事業予算を一律削減することは、誰が知事になってもできることで、意味がないと感じます。また、まだまだ平等ではない生活を強いられている障がい者に対して、平等に予算を削減していくというのは大きな矛盾を感じます。そこで、2008年5月13日（火）大阪府庁前に多くの障がい者団体が3000人以上集まり（ぽぽんがぽんからも50名以上が参加）、大阪府に対してアピール



行動を行いました。こうやって声を上げないと何も変わらないのがおかしいといつも思いますが、私たちの声が届くのか、大阪府の動向をしっかりと見つめていきたいと思います。

こまつしのり
小松義典

もくじ

1. 大阪府庁前アピール行動の報告

2. ろくちゃんまちをゆく

ボランティアの集い報告

3. 茨木しょう会より～新年度を迎えて～

4. 茨木しょう会～08年度会議及び行事計画～

5. 茨木しょう会より～学習会報告～

6. 茨木しょう会より～家族会便り～

7. お米の宣伝、自主製品の通信販売

8. 寄付金のお礼とお祝い

バザー用品のお礼とお祝い



ぽぽんがぽん総会のご案内

2008年6月29日（日）14時～15時 茨木市障害福祉センター・ホール4階大会議室
で行います。みなさんぜひご参加ください。

どかどかつうしんは、ホームページでもご覧いただけます。

<http://popongapon.1d.infoseek.co.jp>



ろくちゃんまちをゆく

No.70

こんにちは。ぽかぽか陽気になってきましたね。まちをゆくには、良い時期になり、京都まで出かける事にしました。京都には古風な建物がたくさんありますが、どこまで車椅子で行けるか疑問に思うことがあります。特に神社やお寺は、段差が多いイメージがあります。しかし、インターネットで調べてみると車椅子でも行けるように考えられている所もあり、それを参考にして、清水寺まで向かいました。門までは急な坂が多く、電動のモーターの音が通常より大きくなり、電動車椅子で行くのはとてもつらかったです。門まで行くには段差があり、その横にも進入通路がありました。それは、駐車場と車椅子用の通路になっていました。駐車場と車椅子用の通路には、車椅子用マークが道路に貼ってあり、そのまま道なりに添って行くと門まで行けました。門には門番の方がおり、ドアを開けてもらい入っていききました。清水寺の中は、段差がありましたが、スロープが付いておりスムーズに通ることができました。お寺を出て坂を下りるとお店があり休憩していると、お店の方から4段くらいの階段がある事を聞きました。入口まで戻るには、電動車椅子の電気の消耗の事を考え、悩みました。悩んだ結果、観光客が多く、男性の方6人くらいにお願い



をして、電動車椅子を担いでもらい、出口まで出ることができました。段があることは知っていましたが4段もあるとは思わなかったです。事前の情報にはなく、お寺の中で聞いても把握してなく困りました。看板でも立ててくれればより親切なのだと思います、お寺に連絡をして、段差の情報を伝えるようにお寺の方に伝えました。改善をしてもらえればと願っています。

ろくじょうともあき
六條友聡



みんな集まれボランティアinいばらき
に参加してきました♪♪

4がつ29にち(火)昭和の日に、北グラウンドにて行われました、ボランティアの集いに参加して来ました。

↑↑当日は、わたがしはとくに、列ができることもあり、好評でした。毎年参加していて、ことしは一番？お店の数もおおかったのかな、と思います。出店しているわたしたちにとっても、他の作業所さんや団体さんと顔を会わせてお話できるととてもうれしい機会になっています。今年は、バザー、ジュース、わたがし、自主製品での出店でした。なんとか予定の売上をあげることができました。

私たちのような福祉作業所や施設は、こういったバザーなどの機会を使って、自分たちの作った商品を売ったり、バザーをしたりして収益をあげ、利用者さんにお渡ししたり、作業所の運営にあてたりしてきました。

運営もいつもギリギリなのに、今回の大阪府のPT案では、更に厳しいものとなっています。予算がカットされると、支援者も来てもうえなくなると、こうやって外にできることすらできなくなってしまうと思います。大阪府にもっと現状を見て欲しい！と思いました。

ひろさわ



いばらき
茨木しょう会より 

しんねんど あかえ 新年度を迎えて

れいねん おんどさ はげしい ひび つづい みなさま げんき まいにち あくり こと おもい
例年になく温度差の激しい日々が続いていますが、皆様お元気に毎日をお送りの事と思
います。

かじつ ねんど そうかい おおぜい しゅつせき いただき また わかい ひとたち おおくさん かいたさき ふじ
過日、2008年度の総会には大勢の出席を頂き、又若い人たちにも多く参加頂き、無事に
あえる ことができありがとうございました。2007年度は茨木しょう会の現 状を改めて見直す
こと できた 一年だったと考えます。

いばらき かい ほうく きょういく うんどう はじまり じりつ しえん
茨木しょう会は、保育・教育運動に始まり「いばらき自立支援センター・ぽぽんがぽん」
の事業拡大に伴い、教育から生活へと種々の問題を踏越えながら現在に至りました。しかし
ながら、若い世代の「障害児・者」の親などに繋げてこれなかった現 状があります。

ねんど がくれいき しょうがい とうじや ぼごしや きょういく かんけいしや こうりゆう ふかめ
2008年度は学齢期の「障害」当事者、保護者や教育関係者との交流を深め、インクルーシブ
きょういく すいしん 教育推進のきっかけをつくりたい、「いばらき自立支援センター・ぽぽんがぽん」との連携
をより強めた活動の推進を深めること、またわかももの けいぞく つとめ れんけい
をより強めた活動の推進を深めること、またわかももの継続に努めていきたいと思っています。



おおさかふ しがつ あん ほつびよう しょうがいしや
大阪府は4月に「PT案」を発表しました。障害者
施策についても見直しがあり、わたしがこれまで
ながい じかん かけて 少しずつ 作ってきた実績と施策を
さくげん さぎょうしょ グループホームへの補助の削減・
廃止等）する内容です。これらは「障害者」の日々
の生活を苦しめる事の施策で、いくら財政難でも切っ
てはならないものばかりです。「障害児・者」の生活
の現 状を維持し、引き下がることのないよう “ガン
バル” 行動をしましょう。

いばらき かい かいちよう さかもと とある
茨木しょう会 会長 坂本 達

ねんど やくいん および じむきよく たいせい 2008年度 役員及び事務局体制

やくいん および たいせい 役員及び体制

- ・ かい ちよう さかもと とある
会 長 坂本 達
- ・ じむきよく ちよう おあた ごろう せいかつ たんとう
事務局 長 太田 吾郎 (生活担当)
- ・ し ょ き おらかみ かずこ かぞくかい だいひよう
書 記 村上 和子 (家族会代表)

- じむきよく いん たかはら ひろつづ きょういく たんとう
事務局 員 ・ 高原 疆次 (教育担当)
- ろくじよう とあき ろうどう たんとう
・ 六 條 友聡 (労働担当)
- あさの しょうぞう
・ 浅野 省 三

- ・ かい け い さかもと えつこ
会 計 坂本 悦子
- ・ かん さ かわもと ともしも やました けい き
監 査 川本 朋子、山下 慶喜

アドバイザー え すが よういち
江 菅 洋一

かつどう きほん りねん 活動基本理念

1. 「障害児・者」本人主体の地域で共に生きる権利(教育・労働・生活)の保障を行 政責任
を明確にしなが ら市民と共に進める。
2. 「障害児」と「健常児」が、共に生き共に学ぶ教育の条 件づくりを、地域や学校
と共に進める。
3. 地域・仲間・他団体とのつながりを深め、労働権、生活権の条 件づくりを進める。

いばらき 茨木しょう会より 

2 0 0 8 年 度 会 議 及 び 行 事 計 画

2 0 0 8 年

しがつ じおきよく かいぎ
4 月 事務局会議

かぞく かい にち
家族会 (8 日)

ていじ そうかい
定時総会 (ハートフル)

ボランティアの集い

がつ じおきよく かいぎ
5 月 事務局会議

かぞく かい にち
家族会 (1 4 日)

じつこう いん かい た ち あ げ
つながりまつり実行委員会立ち上げ

しょうがいしゃ じぎょうだん なな だんたい かい ぎ
障害者事業団・七団体会議

いばらき かい づうしん はつかん
茨木しょう会通信発刊

がつ じおきよく かいぎ
6 月 事務局会議

かぞく かい しん ぼく かい よてい
家族会親睦会 (4 ～ 5 予定)

かぞく かい にち
家族会 (1 0 日)

ていれい かい
定例会

じつこう いん かい た ち あ げ
サマ-キャン° 実行委員会立ち上げ

はんかく へいわ ひ
反核平和の火リレー

しょうあんきゆう しょうかつどう
職 安求 職活動

じゅうがつ
1 0 月

じおきよく かい ぎ
事務局会議

かぞく かい にち
家族会 (1 4 日)

だい かい
第 2 7 回 つながりまつり

ていれい かい
定例会

ぜにはら
レインボーフェスタ 銭原

レクリエーションの集い

じゅういちがつ
1 1 月

じおきよく かい ぎ なな だんたい かい ぎ
事務局会議・七団体会議

かぞく かい にち
家族会 (1 2 日)

じゅうにがつ
1 2 月

じおきよく かい ぎ
事務局会議

かぞく かい にち
家族会 (9 日)

ていれい かい
定例会

いばらき かい ほうねん かい
茨木しょう会忘年会

しょうがいしゃ にちがいとう
障 害者の日街頭キャンペーン

しょうだいいれん じりつ
障 大連自立セミナー

しょうあんきゆう しょうかつどう
職 安求 職活動

ぜんこく しょうがいしゃ せいさく けんきゆう しょうかい
全国障害者政策研 究集 会

しがつ じおきよく かい ぎ なな だんたい かい ぎ
7 月 事務局会議・七団体会議

かぞく かい にち
家族会 (9 日)

しょうだいいれん そうけつき しょうかい
障 大連総決起集 会

ふれあいサマ-キャン°

2 0 0 9 年

いちがつ
1 月

じおきよく かい ぎ なな だんたい かい ぎ
事務局会議・七団体会議

かぞく かい にち
家族会 (1 4 日)

いばらき かい づうしん はつかん
茨木しょう会通信発刊

はちがつ じおきよく かい ぎ
8 月 事務局会議

かぞく かい にち
家族会 (5 日)

だい かい いばらき かい
第 2 8 回 茨木しょう会サマ-キャン°

ていれい かい
定例会

しょうだいいれん こうしょう
障 大連オールラウンド° 交 渉

ま ち くり 企 画

に がつ
2 月

じおきよく かい ぎ
事務局会議

かぞく かい にち
家族会 (1 0 日)

ま ち くり 企 画

さんがつ
3 月

じおきよく かい ぎ なな だんたい かい ぎ
事務局会議・七団体会議

かぞく かい にち
家族会 (1 1 日)

ていれい かい
定例会

く がつ じおきよく かい ぎ なな だんたい かい ぎ
9 月 事務局会議・七団体会議

かぞく かい にち
家族会 (1 2 日)

しょうがいしゃ こよう げつかん がいとう
障 害者雇用月間街頭キャン°- ン

いばらき かい づうしん はつかん
茨木しょう会通信発刊

◆ み て い
未 定

しょうがいしゃ し さく すいしん きよう かい
障 害者施策推進協議会

(年度内 5 回 予定)

キッズま ち くり 企 画

いばらき
茨木しょう会より



「第4回北摂『障がい』のある子どもの高校進学を考える学習会」からの報告

5月10日（土）東淀川の日の人権文化センターで開かれた第4回学習会に参加した。「障害」のある子どもも健常児と同じ地域の高校で高校生活を送りたいというあたりまえの思いに添って高校の門を叩く運動はこの大阪では1980年代から起こり、2006年度からは府立高校で9校と大阪市立高校2校で「自立支援コース」という「別枠」でそれぞれ2～3名の「知的障害」の生徒を受け入れる制度がはじまってはいる。しかしその現状はどうか？2008年のその入試倍率は平均4倍を超えた。一般公立高校の平均倍率（前期）は1.44倍である。「知的障害」生徒に「健常児」生徒以上に苛酷な競争を強いるこの制度をどう考えたらよいのか。相変わらず「定員割れ」頼みの一般高校受験で、高校側の「定員割れ不合格者は出さない」という方針維持を信じるしか「障害児」生徒の一般高校進学の道はないという現実をどうしていけばよいのか。等々様々な現状と課題を考えていこうというこの学習会も昨年10月27日の第1回以来、府教委他北摂各地域の教育委員会の後援を得て4回目の開催となり、今回初めて茨木市教育委員会の後援ももらえた。学習会の主催者は「『障害』のある子どもの教育を考える北摂連絡会」（代表：鈴木留美子）という。その事務局に茨木しょう会の教育担当が加わっている。

当日は生憎の雨のせいもあったのか茨木からの学齢期の当事者、その親又は学校関係者の参加は残念ながら無かった（第2回、3回には若干名とはいえあったのだが）。茨木に近い将来中学を卒業する「障害」生徒が居ないはずはない。その生徒の高校進学への思いはどうか、その保護者の思いは、その中学校の先生方はどう考えておられるのか。そんな思いに駆られながら何か少しでもできることはないか考えている。どなたか御意見、アドバイス、もらえませんか？

（教育担当 高原 疆次）

はるやす
春休みのキッズ・まちくり

はるやす
春休みは、3月と4月に1回づつキッズ・まちくりを実施しました。



3月26日（水）にハートフルの調理実習室でうどん作りをしました。たくさんの方が参加してくれ、協力してくれたボランティアさんも多く、大所帯でのうどん作りになりました。今回は、小麦粉から捏ねて、電子レンジで熟成する時間を短縮した簡単うどん作りに挑戦しました。低学年の子どもたちには、うどんを捏ねることはとっても大変でしたが、体を使って一生懸命踏んで、なかなかコシの強いうどんを作ることができました。



出来上がったうどんを細く切ることも難しかったようですが、おいしいうどんが出来上がりました。手作りのきつねものをみんなでおいしくいただきました。



4月4日（金）には、恒例となった自由遊びを茨木市民体育館で行いました。フラフープで遊んだり、平均台で遊んだり、ボールを使って遊んだり、風船で遊んだりみんなそれぞれに楽しく過ごしました。この日もたくさんの方のボランティアさんが協力してくれて、子どもたちと一緒に遊んでくれました。また、子どもたち同士もぜひ顔見知りが増えたようで、一緒に遊ぶ姿や、話をする姿が見られ、うれしく感じています。

また、みんなで遊ぶ時間では、今回も手つなぎ鬼をしました。ルールも分かってきたようで、元気いっぱい逃げ回る子どもたちでした。

次回のキッズ・まちくりは夏休みの開催を予定しています。ぜひ参加して下さい。



いばらき 茨木しょう会より 

かぞくかい だより
(家族会便り)

◆ 3 / 2 8 親睦会

桜の開花が聞こえる穏やかな昼日向、昼食を囲んでの親睦会を開催。
食材にこだわられた、身体に優しい和食のコースを美味しくいただきました。
それぞれのご都合もありなかなか皆が揃うことは難しいですが、参加者 9 名
話もはずみ、あっという間の 2 時間でした。

◆ お花見

4 / 8 家族会会議の後、16 時頃から桜通りでお花見を…。前日は大雨、翌日も雨…。そんな雨の合間に無事開催できました。桜もちょうど見頃、家族会、関係者、メンバーさん、ぽぽんがぼんスタッフ…。たくさんの人が参加してくださり夜桜迄。近くでお花見中の知り合いの方々の所にも合流させて頂き、遅くまで楽しんだお花見でした。



【茨木しょう会・家族会】

私たちは、障害をもって生まれると地域の中であたりまえの生活と教育を受けることができないのは何故なのか、という思いをきっかけに、茨木の地で 1980 年より、「障害児・者」の暮らしについて様々な活動をしてきた会です。毎年秋には「つながりまつり」も開催しています。保育所入所の取り組みから、地域の幼稚園・小学校・中学校と、ともに学び、ともに育つインクルーシブ教育の大切さを実践し、「障害児」の一般高校入学の取り組み、高校交流の実現へとつながってきました。現在、大阪府下の高校で取り組まれている「知的障害生徒自立支援コース」は私たちの活動の延長上にできたひとつでもあります。現在では、「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」と「ぽかぽか」「ふかふか」という 3 つの作業所、グループホーム「多歌多架」「さくら」「ピース」「ホープ」「フジハイツ」「おりーぶ」、又、一人暮らしをされている方などの地域生活支援を実施している「いばらき自立支援センターぽぽんがぼん」と連携をとりながら活動をしています。ぽぽんがぼんでは 2006 年 5 月より「大阪府障害者地域移行支援センター事業」の指定を受け、グループホームの設置促進、地域での自立生活の取り組みを積極的にすすめてきました。また、2007 年度は障害者相談支援事業（知的）を受託しました。

「障害児・者」の地域での生活・教育について、何かお知りになりたい事や悩み、相談事など、又、当会のことにも少しでも興味をもたれた方がいらっしゃいましたら、お電話だけでもかまいませんので、一度ご連絡下さい。(T&F 072-623-5607 村 上)

「ぼかぽか」のおいしい減農薬米

とつてもおいしいお米をお届けいたします。みなさんぜひ、お試し下さい！！

* 今月の仕入れ予定 6月3日(火)、17日(火)・7月8日(火)、22日(火)

今月は「コシヒカリ」をお届けします。

※ 6 月いっぱいには三田のお米(中様、福西様)

7~9月は甲賀のお米(販売:吉崎様で生産:甲賀農協様)となります

※ 配達開始予定日の1週間前に発注をしますので、それまでに注文・変更を

お申し出下さい。

お申し込み、配達等お問い合わせ・・・

「ぼかぽか」 お米の配達担当:山根 電話 & F A X 072-637-0115



「アルミ缶」あつめています！

回収ボックスは、「どかどか」「ぼかぽか」東和苑の公園にあります。

ゴミ袋3袋以上であれば回収に伺います。ご連絡下さい！

ちなみに、月曜日は主原・水尾方面、水曜日は東和苑花園方面に回収に出ています。

「どかどか」072-637-6882 (さとう)迄。



今月は369kgでした。

アルミ缶回収量結果報告！

3/13~5/12まで

どか・ぽか

通信販売

【ご注文・お支払い方法について】★メールでの注文も始めました★

① 下記の表に記入の上、メール (poponga_doka@yahoo.co.jp)

FAXまたは郵送でお申し込み下さい。

② 商品と振り込み用紙をお送りします。

③ 代金を1ヶ月以内にお振り込み下さい。※郵送料はお客様ご負担となります※

「どかどか」「ぼかぽか」商品一覧表 ※注文数は「セット数」でお願いします。



品名	内容	価格	内容	注文数
1001 てすきはがき	1㊦ 5枚	¥ 1 0 0	無地	
1002 てすきはがき	1㊦ 5枚	¥ 1 0 0	テマーク付	
1003 てすきふうとう	1㊦ 5枚	¥ 2 0 0	定型内サイズ ^ㄱ 郵送可	
1004 ミニメッヂカード ^ㄱ	1組	¥ 1 0 0	カード ^ㄱ と封筒の㊦	
1005 一筆箋 (いっぴつせん)	1㊦ 10枚	¥ 1 5 0	無地	
1006 ひとことカード	1㊦ 10枚	¥ 1 5 0	名刺サイズ ^ㄱ のカード ^ㄱ	
1007 アクリルタワシ	1個	¥ 5 0	手編み	
2001 すてんしるはがき	1㊦ 2枚	¥ 1 0 0	絵柄入り	
2003 ミサンガ	1本	¥ 1 5 0	手編み	

【ご注文書】 どかどか 072-637-6882

(フリガナ)

TEL — —

おなまえ

FAX — —

〒

お届け先ご住所

「センター寄付金」へのご協力ありがとうございました

3 / 1 3 ~ 5 / 1 2 まで

小野様 村上様 西田様 鎮山様 高原様 萩原様 北脇様
浅野様 堀之内様 富井様 塚平様
その他たくさんの皆様 ありがとうございました。



皆様からのご寄付がありましたら、非常に助かります。

何卒皆様のご協力をお願いいたします。

郵便局 郵便振替口座番号 0 0 9 5 0 - 5 - 3 1 4 5 2 2

口座名 「いばらき自立支援センター ほほんがぼん」

◎通信欄に『センター寄付金』とおかきください



アルミ缶・バザー用品・牛乳パック等のご提供ありがとうございました

3 / 1 3 ~ 5 / 1 2 まで

辺麦様 林様 橋本様 坂本様 やしろ様 埴淵様 柳町様 再生グループ様
田川様 松原様 谷田様 中西様 大垣様 かさい様 新延様 谷田様 前田様 端様 横山様
太田様 峯松様 足立様 村山様 サイダ様 宮村様 浅野様 藪井様 塚様 はらっぱ様
ぬかざわ様 うえき様 黒田様 王様 落合様 篠原様 ハロハロ様
その他たくさんの皆様 ありがとうございました。

バザー用品提供お願いします

『衣類』 子供・大人・新品も古着もOK（しみ、破れののないものでお願いします）

『日用品』 雑貨・カバン・新品食器等

（大型、電化製品はお受けできませんのでご了承ください）

（ご持参いただけると大変助かります）

「ほかほか」主 原 町 13-3 TEL : 072-637-0115

「ふかふか」南 安 威 2-6-20 TEL : 072-643-6898



編集者：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」 Tel/Fax (072) 637-6882

〒 567-0842 茨木市五十鈴町 7 - 2 9 シティコーポ 五十鈴 1F

発行人：関西障害者定期刊行物協会 大阪市城東区東中浜 2-10-13 緑橋グリーンハイツ 1F

定価 2 0 0 円

